

国語科学習指導案

令和2年9月25日（金）6校時
第4学年1組 児童数30名
授業者 藤井 雅子

単元名 広島県の「よさ」や「みりよく」をリーフレットで紹介しよう！
教材文「伝統工芸のよさを伝えよう」（光村図書 4年）

本単元で育成する資質・能力 主体性 コミュニケーション能力 メタ認知

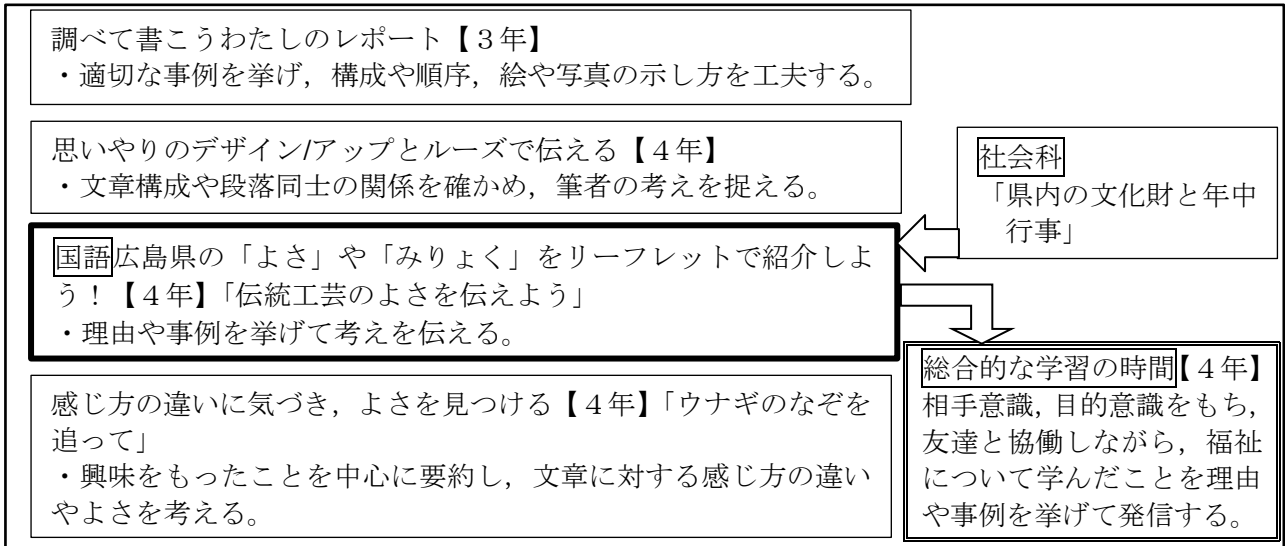
1 単元について

<p>【単元観】 本単元は、小学校学習指導要領の国語科第3学年、第4学年の〔知識及び技能〕（2）情報の扱い方の指導事項「イ 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。」「思考力、判断力、表現力等」B書くこと「ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。」を受けて設定したものである。 本単元は、「広島県のよさを保護者にリーフレットで紹介する」という言語活動を位置づけた、読むことと書くことの複合単元である。教材文「世界にはこる和紙」から筆者の説明の仕方の工夫について捉え、百科事典などを活用して広島県の伝統工芸、文化、建築物、遺産等について調べ、リーフレットに分かりやすくまとめる。 本単元を通して、百科事典や本、インターネット等の情報から、自分なりの考えを形成し、考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして表現する力が育成されると考える。</p>	<p>【児童観】 本学級の児童は、第3学年「調べて書こう、わたしのレポート」の学習において、考えた構成をもとに、理由や事例を挙げてレポートを書いている。また、第4学年6月「筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう～アップとルーズで伝える～」の学習においても、考えとそれを支える理由や事例との関係について捉え、自分の考えを発表している。しかし、7月に行った課題作文では、「考え（抽象）と理由や事例（具体）を関係づけて書くこと」の正答率が75.9%であり、具体と抽象を捉える力やそれを表現する力に課題が見られる。</p>
<p>【指導観】 本単元では、広島県の魅力を伝えるリーフレットを作成することを通して、中心となる語や文を捉えて要約する力や、自分の考えとそれを支える理由や事例を明確に表現する力を育成する。また、自分が伝えたいことを相手に分かりやすく表現できることや自分の学び方について認識させる。そのため、次の点に留意する。 1点目は、広島県のよさや魅力を分かりやすく伝えるリーフレットを作成するための学習計画を立てて解決の道筋を意識させるとともに、随時、学びを振り返らせるようにする。2点目は、教材文「世界にはこる和紙」を読んで、筆者の考えの理由と、その事例の関係について要約し、リーフレットに書き表すことで、「読むこと」と「書くこと」との関連を図る。3点目は、百科事典や関連図書、インターネット等で調べる時間や場を設定することで、自分なりの考えを形成できるようにする。単元後は、本学習を振り返り、情報を分かりやすく伝えるためにリーフレットが効果的であることに気付かせ、総合的な学習の時間における表現活動へとつなげていく。</p>	

2 単元の評価規準

【資質・能力】 メタ認知		
・広島県の伝統工芸や文化、建築物、遺産等について、自分の感じる「よさ」や「魅力」を理由や事例を明確にすることで、分かりやすく表現できることを理解している。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・事典の使い方を理解し使っている。 【知識及び技能（2）イ】 ・幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 【知識及び技能（3）オ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫している。 【思考力、判断力、表現力等B（1）ウ】 ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。 【思考力、判断力、表現力等C（1）ウ】 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習に取り組む、進んで要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係の書き表し方を工夫したりして、調べて分かったことをリーフレットにまとめようとしている。

3 単元関係図



4 指導と評価の計画 (全 16 時間)

次	学習内容 (時数)	評 価			
		知・技	思・判・表	主体的態度	評価規準 (評価方法)
一	○単元のゴールを知る。 ○学習計画を立てる。 ○新出漢字や語句の確認をする。(1)			○	・リーフレットについて関心を持ち、単元全体の学習の見通しをもって、学習に取り組もうとしている。【態】(ノート、行動観察)
二	○教材文「世界にはこる和紙」を読み、文章全体の構成を捉え、リーフレットにまとめる。 ○筆者の考えの理由と、その事例の関係について読み取る。 ○中心となる語や文を考え要約する。(4)		○		・文章の内容と構成を捉え、中心となる語や文を考えながら要約してまとめている。【思C】(リーフレット) ・百科事典の使い方を理解し、使っている。【知】(ノート) ・読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。(行動観察・発言・ノート)
	○広島県の伝統工芸や文化遺産等を調べ、関連図書を読む。 ○「百科事典での調べ方」を読み、百科事典の使い方を知る。(2)	○		○	・進んで中心となる語や文を見つけて要約したり、複数の本を読んだりしようとしている。【態】(行動観察・記述)
三	○取り上げる広島県の伝統工芸や文化遺産等を決めて、情報を整理する。(2)		○		・調べたことを基に、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。【思B】(リーフレット)
	○リーフレットの組み立てを考える。 ○レイアウトを工夫する。 ○伝えたいことが明確になるように「始め」と「終わり」を書く。 ○理由や事例との関係が明確になるように「中」を書く。【本時】(5)		○		・進んで自分の考えとそれを支える理由や事例との関係の書き表し方を工夫して、調べてわかったことなどをまとめて書こうとしている。【態】(行動観察・リーフレット・評価カード)
	○友達と読み合い、感想を伝え合う。 ○単元の学習を振り返る。(1)			○	

5 本時の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
本時の目標 自分の伝えたいことを読み手に分かりやすく伝えるために、伝えたいこととその理由や事例との関係が明確になるような書き表し方をするとよいことに気づき、調べたことを基にリーフレット「中①」の下書きをすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が書き込んでいる「広島県のみりよくカード」を確認する。 ・本単元のゴールが、広島県の伝統工芸や文化遺産等の「よさ」や「みりよく」を伝えるためのリーフレットづくりであることを確認する。 	
2 本時のめあてを確認する。 ○めあてを設定する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> めあて 「よさ」や「みりよく」が読み手に伝わるような書き表し方を工夫し、リーフレット「中①」の下書きをすることができる。 </div>	
3 自分の考えが伝わる書き表し方を考える。 ○どのような書き表し方をすると、読み手に「よさ」や「みりよく」が伝わりやすいか、意見を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文「世界にほこる和紙」のリーフレット作りを想起し、活動のイメージをもたせる。 ・リーフレット「中①」を二つ準備し、比較を促すことで、どのような組み立て方をすると、読み手に伝わりやすいかを考えさせる。 ・教材文「世界にほこる和紙」の記述における既習事項を想起させる。 	
○どのような書き表し方をすると、読み手に「よさ」や「みりよく」が伝わりやすいか、意見を交流する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈予想される児童の発言〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長すぎる文章だと読みにくいな。 ・よさが伝わるように、よさを表すときに大事になる言葉を落とさないで書くといいな。 ・自分の考えにつながるような理由や例を書くといいな。 ・「例えば」という言葉があると例だということが分かりやすいね。 </div>	
○リーフレットの「中①」の下書きをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「文字数は150字程度」「キーワードを落とさない」「伝えたいことと理由や例との関わりが分かること」をポイントに挙げる。 〈児童の状況に応じた指導〉 ・自分で記述するのが難しい児童には、教材文をまとめたリーフレットを見るように助言する。 ・情報を整理した際の、伝えたいことと理由や例が書かれているメモを確認させ、文章構成が示されているヒントカードを提示する。 	【思・判・表】 調べたことを基に、自分の考えとそれを支える理由や事例を「中①」に書いている。（ノート） A：中心語句を落とさないで、伝えたいことと理由や例との関わりが分かるように書いている。 B：伝えたいことと理由や例が書いている。 C：「中」に理由や具体例が書けていない。
4 班で読み合い、交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・班での交流や全体交流を踏まえ、改めて考え、自分の思いを形にしていくようにする。 	
5 本時のまとめを行う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> まとめ 自分の考えにつながるような理由や例を書くと、読み手に自分の考えが伝わりやすい。キーワードを落とさないで書くとよい。 </div>	
6 本時を振り返り、次時につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の始めと終わりでどのように自分が変容したかを視点にして、振り返りを行う。 	

伝統工芸のよさを伝えよう

めあて

「よさ」や「みりよく」が読み手に伝わるような書き表し方を考えて、リーフレット「中①」の下書きをすることができる。

リーフレットA

リーフレットB

ポイント

- ・ 要点をまとめて短く書く↓百五十文字程度
- ・ よさを表すときに大事になる言葉を落とさない
- ・ 自分の考え(伝えたいこと)と理由や例との関わりが分かるように書く

まとめ

自分の考えにつながるような理由や例を書くと、読み手に自分の考えが伝わりやすい。
キーワードを落とさないで書く。